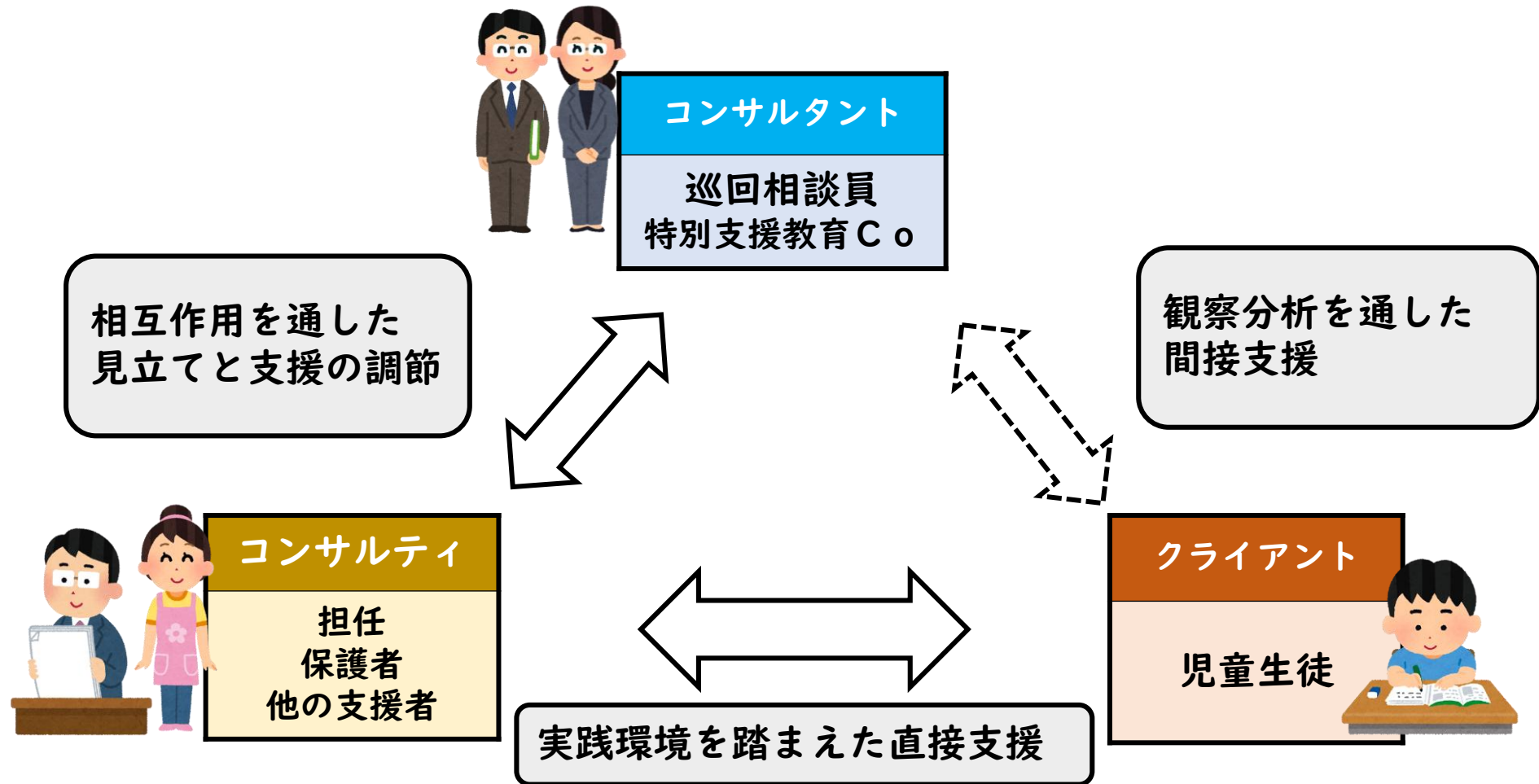


2025年6月1日 こども環境学会2025年大会（高知）
分科会④デジタル社会を生きるこどもたちとどう向き合うか
話題提供④-2

行動コンサルテーションから捉えた ココリフについて

山口大学教育学部特別支援教育教室
須藤邦彦

行動コンサルテーション



外部専門家と協働による問題解決を図る有効な手段のひとつ
コンサルティ（教員）の行動変容や資質向上も見込まれる

現場で起きている課題

多忙さや準備不足により・・・

見立てに十分な時間を割く必要がある
支援の目標を確認・調整する必要がある
価値づけ等により動機付けを高める必要がある



その場で必要なこと（対処的な支援等）のみに焦点化されやすい

ココリフの価値

【コンサルテーションが重視する視点から】

①相談に取り掛かるハードルが低い

←コンサルティの自発を促しやすい場・働きかけ・関係性

②ヒントや手がかりを本人のペースで得ることができる

←コンサルティの支援場面での自立を補完

③可視化した「まとめ」も即座に作成できる

←見立ての共有と支援案の導出を後押しする

④やり取りそのものが動機づけになり得る

←継続的なやり取りを通してコンサルティの省察スキルを向上

ココリフとの省察（準備）がコンサルテーションを効率化する可能性